



学校教育目標

- ・豊かな感性を育む生徒
- ・学ぶ意欲を育む生徒
- ・逞しい心身を育む生徒

猛暑の夏、学校祭や職業体験等を通して生徒の成長が見られた実りの秋を経て、春へのエネルギーを蓄える冬を迎えました。インフルエンザ等の大きな流行もなく、2学期を終えることができたのも、ご家庭のご指導、ご協力のおかげと感謝しております。

さて、今年の漢字は「税」。『のぎへん』ではなく『りっしんべん』なら、少しは明るい気持ちになるのに・・・」と、思いました。

～税から悦へ～

「よろこび」には主に4つの漢字があてがわれます。

- ・「喜び」は「喜ぶこと」「嬉しい気持ちや心」など、嬉しい気持ちを意味する一般的な表現です。
- ・「歓び」は「声が出るほどの嬉しさ」「他人と喜び合う事」など、嬉しさの中でもにぎやかさが含まれる場合に使うことがあります。
- ・「慶び」は結婚式などお祝い事に使われることが多いようです。

こうした「よろこび」に対して、りっしんべんの「悦び」は

- ・「悦び」は同じ嬉しさの中でも「満足な思い」「楽しんでいる様子」など、が含まれる場合に使うことがあります。

「悦び」には他の「よろこび」にないしみじみ感を感じます。

～しみじみとした幸せ Well-being～

最近、Well-being という単語を目にすることが多くなりました。「幸せ」と訳される Well-being ですが、同じく「幸せ」と訳される Happiness とはニュアンスが異なります。

- ・Happiness : 「感情的で一瞬しか続かない、スパンの短い幸せ」のこと。
- ・Well-being : 「身体的、精神的、社会的に良好な状態」「持続する幸せ」のこと。

「悦び」と同じく Well-being にもしみじみ感が漂います。

フランスの哲学者、教師であるアラン (1868・1951) はその著書『幸福論』で「子どもたちには幸福になる方法を良く教えなければならない。」

と記しています。その通りだと思います。究極的には、家庭も学校も、親も教員もそのために存在するのだと思うのです。そして、改めて考えます。

ここでいう「幸福 (幸せ)」とは、Happiness だろうか、Well-being だろうか。

～幸福をつくり出す力～

アランの『幸福論』は93のエッセイから成り立っています。

そして92番目のタイトルは「幸福にならねばならない」です。

「幸福になるのは、いつだってむずかしいことなのだ。多くの出来事を乗り越えなければならない。大勢の敵と戦わなければならない。負けることだってある。しかし力いっぱい戦ったあとでなければ、負けたというな。ぼくは思う。自分の幸福をつくり出さねばならない。」

人生100年、そして変化の激しい時代だからこそ、地に足付けた幸福 Well-being をつくり出す力が必要なのだと思います。こうした力を一人一人に身に付けさせる学校でありたい。仲間とともに学び合う生徒を眺めつつ、決意を持って新年を迎えたいと思っています。

最後になりました。保護者、地域の皆様には1年間大変お世話になり、ありがとうございました。2024年が皆様にとって「昇竜」の年となりますことを心よりご祈念申し上げます。

苫小牧市立明野中学校 校長 井内 宏 磨



苫小牧市中学生主張発表大会

12月2日(土)、苫小牧市文化交流センターにて、『苫小牧市中学生主張発表大会』が行われ



ました。本校からは、2年生の渡邊杏香さんが出場しました。放課後残って練習を重ね、主張文を全て暗記して本番に臨み、優良賞に輝きました。また文集には、2年生の鈴木愛瞳さんの作品も掲載されます。



(発表者) 渡邊 杏香さん
『今できることを探して』
(文集掲載者) 鈴木 愛瞳さん
『それぞれの「普通」』

発表の様子は、YouTubeにて公開されます。詳細は下記のとおりです。ぜひご覧ください。

【YouTubeによる限定公開】

令和6年1月31日まで公開

- ・発表 https://youtu.be/_lqpaJTuplU
- ・表彰及び閉会式 <https://youtu.be/kTFOWOo1WKM>



発表



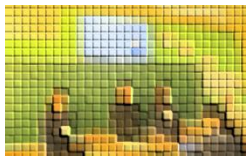
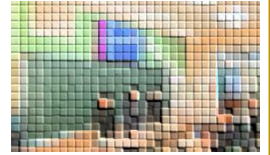
表彰及び閉会式

12月11日(月)からお願いしていた『学校評価アンケート(保護者向け)』に154名の保護者にご回答いただきました。ご協力いただき、誠にありがとうございます。冬季休業中に集計を行い、2月の初めには結果をお知らせできると思います。次年度以降の教育活動にも生かしていきます。

6月から始まった改修工事が、ようやく終了しました。記録的な猛暑や溶剤のにおいなど、いろいろとご迷惑をおかけしましたが、校舎の外観がきれいにリニューアルされました。

未来について考える授業

12月13日(水)、1年生の総合的な学習の発表会が行われました。1年生もSDGsについて各班でテーマを決め、



それについて調べ、まとめたものを各学級で発表しました。聞いている人により伝わるように、工夫しながら発表していたのが印象的でした。保護者の皆様もたくさんご来校いただき、生徒の発表を興味深く聞き入っていました。

SDGsに関する学習はこれからも続きます。今回の学習、発表をさらに深めるような取組を期待しています。

素晴らしい音楽がやってきました

12月18日(月)、駒澤大学附属苫小牧高等学校吹奏楽部が来校し、演奏会を開いて



くださいました。駒大吹奏楽部は、クリスマス



にエスコンでコンサートを控えていて忙しい中、本校のために演奏をしてくれました。

本校の卒業生もいて、本校生徒にエールを送ってくれました。全員がとても楽しそうに演奏していて、聞いている私たちも幸せな気分になる素晴らしい演奏会でした。

スクールカウンセラー、心の相談室について

【スクールカウンセラー】 上井 理絵 さん

(1月の来校日) 17日(水)、31日(水)

※12時~16時(それ以外は、ご相談ください)

【心の相談室】 長嶺 晴恵 さん

千葉 恵 さん

基本は、火曜日~木曜日に来校します。

※9時30分~13時30分(変更しました)

※上記以外の時間をご希望の方は、ご相談ください。

一人で悩まず、相談を！

- 子ども相談支援センター(24時間子供SOSダイヤル) 0120-3882-56 (0120-0-78310)
sodan-center@hokkaido-c.ed.jp
- 児童相談所虐待対応ダイヤル 189(いちはやく)
- 北海道いのちの電話 011-231-4340